

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人光洋会	代表者	田中 八枝子	法人・事業所の特徴	様々な場面で利用者の自己決定を促し、趣味や家事活動にも個々の能力や希望に応じて参加して頂いている。利用者や家族の生活状況に合わせて通いや訪問、泊りサービスを柔軟に組み合わせている。特に通いでは、就労のある家族のニーズにもあわせて利用を受け入れるなど本人だけでなく家族の生活にも配慮している。地域に向けた取り組みでは社協主催のサロンで介護予防や認知症啓発の出張講演に出向いたり宗像市内外の小規模事業所と勉強会や交流会を開き職員の学びの場としている。中学生の職場体験や社会福祉士の実習も受け入れ次世代の福祉の担い手の育成にも力を入れている。
事業所名	城山庵	管理者	小方 奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	2人	人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者との会話では、生活歴や自宅での様子など利用者に関する情報を聞き取るという意識を持って業務にあたる。 職員は「スタッフ評価」で改善計画の立案まで各自考えて評価し外部評価を効率よく進めていく。	利用者の情報収集については職員のコミュニケーション能力に差がある為上手く情報を引き出せない職員もいる。 今年度の外部評価は前年度の計画に沿って進め、前年度より効率よくおこなえた。	職員の自己評価にばらつきがあるのはなぜかという質問に対して、自分自身で判断するか事業所として判断するのかわりで自己評価が変わってきたり、自分自身を厳しく評価するかどうか、個人のものさしによっても評価に影響がある。	職員に向けて小規模外部評価についての勉強会を実施し、自己評価について解釈の統一をはかる。
B. 事業所のしつらえ・環境	トイレの換気扇のスイッチが切れたりフロアの不快な臭いが解消できるよう換気扇使用を意識しておこなう。	トイレの照明はセンサーで反応する為、利用者が換気扇のスイッチを照明と間違えて消してしまうことがあり職員が確認を続けている。オープンキッチンなので適時フロアの換気扇も使用し環境面も配慮している。	玄関は施設というイメージではなく、自宅に来た印象を持っていたりただけのよう係を決めて季節ごとに玄関の装飾をほどこしている。居室が居心地の良い空間になっているかを客観的に判断する事は難しい。	ハード面は出来ているので利用者が居心地良く過ごせる様、職員はソフト面での気配りを意識して業務に取り組む。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>通勤途中にも一般の方へ積極的に挨拶する「あいさつ運動」を実施する。</p>	<p>職員は駐車場から事業所までの通勤途中には近隣の方に対して挨拶をおこなっているが利用者の住んでいる地域の方にも目を向ける必要がある。</p>	<p>小規模多機能がもっと相談や利用しやすくなるためには、住民の家をまわって変化に気づきやすい民生委員に小規模のサービスを理解してもらうことが大切である。吉武、赤間地区の民生委員に小規模のサービスについて研修会を開いて欲しいと要望があった。</p>	<p>地域の方や利用者の送迎時にあいさつ運動を継続しておこなう。民生委員に向けて小規模サービスについての研修会を開催し理解を深めていただき、相談しやすい関係作りを目指していく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>認知症独居の方の住んでいる地域の民生委員や近隣住人との連絡体制を作り、連携が図られる関係作りを目指していく。地域の行事やイベント参加については行き先や行程について利用者の意見を取り入れて実施していく。</p>	<p>認知症独居の利用者の住んでいる地区の民生委員や組長、隣近所の住民には家族の帰省など予定を伝えて情報を共有し、変化があった時には連絡をもらい、すぐ対応できる様になっている。年間行事や季節の花見など利用者にも行き先や食事の場所など意見を取り入れている。</p>	<p>地域の方を交えた会議という形ではなくても利用者を取り巻く関係者とは情報交換をおこなっている。個人情報という事もあり利用者以外のご近所の心配な方の相談が事業所にきたことはなかった。</p>	<p>事業所外に利用者を連れ出す機会を作るよう職員各々がモチベーションを上げて業務に取り組む。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>推進委員からも地域の心配な方への支援について情報をいただき、会議の中でも対応策や支援のあり方について検討する。</p>	<p>推進委員が地域の心配な方の事例を出して検討するのは個人情報ということから難しいようなので、事業所から利用者の事例を通して支援のあり方を推進会議で検討した。</p>	<p>地域の心配な方に対しても民生委員と関係性ができるまでには時間がかかり、顔見知りになっても具体的に関わっていないので状況を把握することは難しい。</p>	<p>事業所から推進委員に向けて利用者だけでなく地域の心配な方について事例検討をおこなう機会を作っていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>城山庵の防災訓練に近隣の方が参加してもらえるよう呼びかけの方法を工夫する。</p>	<p>防災訓練や避難訓練に地域の方も案内を出すなど呼びかけたが参加はなかった。応援体制という点では隣に特養とサ高住ができたので、応援体制としては心強くなった。</p>	<p>今年度は避難訓練に推進委員の方の参加をお願いしなかったため新しく委員になった委員は参加したことがない。</p>	<p>推進委員の方々が城山庵の防災訓練に参加できるようにする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (19 : 00 ~ 19 : 20)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
秋満 荒牧 石松 広瀬 明比 東 友野 三好 高木 吉田
光根

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	16 人	1 人	0 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への報告が的確にできるよう利用者をその日担当した職員が連絡帳に利用時の様子など記入する。 ・送迎時に家族へ配慮した声かけをおこなって行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始 1 週間はその日の担当職員を決めて、利用者への配慮や利用者の不安軽減に努めている。また利用当初の情報と違う点や新たなニーズがあれば連絡帳や TEL など家族に報告し、対応を検討した。 ・担当した職員が書けないときは、記録担当者へ引継ぎをおこなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	9	1	0	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	13	0	0	20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	13	1	0	20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	13	3	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に新規利用者の情報は全職員に回覧し、朝礼や職員会議などで情報交換をおこなっている。 ・サービス利用前に家族や本人の状況を把握し不安を取り除く方法を提案しリスクも含めて説明している。 ・利用開始後には連絡帳だけでなく、ケアマネからも家族へ利用状況や新たな問題について知らせている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日中独居の方が増えていて家族や介護者に会う機会が少なくなり、家族、介護者の関係作りのための配慮が難しくなった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新規利用者の不安を軽減する為、その日担当する職員を決めて、利用時の様子など連絡帳でお知らせする。送迎時には家族へ配慮した声かけをおこなっていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (19 : 20～19 : 40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	12 人	5 人	0 人	20 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ができた事に対し賞賛を欠かさず、次へのモチベーションを高めるよう、誉め上手になる。 ・利用者の知り得た情報を記録に残す意識をもつよう、記録担当の係が定例会や申し送りで内容についての気づきを発表する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレや活動において利用者のできる事を見極めて、できたことに対して賞賛を欠かさないよう心がけている。 ・日々の利用者とのかかわりで、新たな気づきがあっても記録に残っていない事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	12	7	0	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	11	1	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	12	0	20
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	9	8	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人が目標「～したい」を意思表示できる方には、計画を立て、個別で作品作りやアクティビティ活動を実施している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・重度の認知症など自分から「～したい」を言えない方は、日常のケアに重点がいきってしまい、上手く「～したい」を引き出せていなかったり、言葉以外の表情や習慣など日頃の様子から「～したい」を把握する事ができていない。 ・「～したい」を把握しても実施までに時間がかかったり、計画性に欠けている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ができたことに賞賛を欠かさず、次のモチベーションにつながる様誉め上手になる。 ・担当職員が定例会や申し送りで利用者の情報を交換おこない、「～したい」を把握する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (19 : 40 ~ 19 : 55)

3. 日常生活の支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	5 人	3 人	20 人

前回の改善計画	・利用者の担当職員が年に 1 回、その方の暮らし方を意識したアクティビティ活動を計画し、実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全員の利用者ではないが、担当職員がその方の生活歴ややりたい事を把握してアクティビティ活動を実施しているが、言葉として表現できない利用者のアクティビティ活動が実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	6	13	1	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	12	0	0	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	12	8	0	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	13	3	0	20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	13	5	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・基礎的な介護についてはできている。またその日の体調や精神面など変化に合わせた対応もできている。 ・受診が必要な場合は家族と相談し早めの受診につなげている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員によってはアクティビティ活動に繋がる情報を聞き出せず、実施できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・担当の職員が毎月のモニタリングで利用者の生活歴や気持ちを把握する意識を持ち、誕生月を目標にアクティビティ活動を計画、実行する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (19 : 55 ~ 20 : 05)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	11 人	2 人	0 人	20 人

前回の改善計画	<p>・利用者を取り巻く家族やその方の住んでいる地域の方との関係を築くよう積極的に挨拶をする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・送迎や訪問のときなど職員から積極的にあいさつができています。また地域の行事などに出かけたときも挨拶を心がけている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	12	6	0	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	10	7	0	20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	11	7	0	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	15	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・これまでの生活や現在の自宅での過ごし方などは、ケアマネが利用開始前のアセスメントや訪問時に情報を得て、適時職員と共有するようにしている。</p> <p>・独居の方に対してはできるだけ民生委員と連絡を取り関係を作るようにしている。家族支援も継続するようケアプランに位置づけしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・民生委員や地域資源についてはサービスと家族の支援で対応できているので特に必要とされるケースが少ない。地域との繋がりがすでに途絶えている事が多く、再開する事を家族も希望されない。</p> <p>・要支援の方は地域での活動を継続するよう勧めているが要介護の方はご家族が安全安心を優先されたり近隣への迷惑を心配され、サービス利用を優先される。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・担当者会議において本人のこれまでの生活スタイルや人間関係を話題に上げ利用者への理解を深める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (20 : 05 ~ 20 : 20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	13 人	4 人	1 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">登録者数を増やす為に組織的な協力が得られるよう呼びかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">法人の病院相談員や居宅介護支援センターに呼びかけをおこなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	13	3	2	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	10	2	0	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	11	2	0	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	13	2	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">通所では利用時間の変更で朝食や夕食まで急ぎょ提供したり、独居の利用者では受診や安全確認の為に予定外の訪問など柔軟に対応している。本人の変化の把握とそれが生活にどう影響を及ぼすか検証し家族と援助内容を相談している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">家族がいる利用者では社会資源を必要とすることがあまりなく、家族の不安を考えると家族の要望を優先してしまう。家族の安心をかなえられないと施設入所になってしまう。定額の利用料という事で安易にサービスを希望されることもあり、デマンドなのかニーズなのか判断が難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">利用者や家族の「変化」に気づいた時はその対応まで職員が考え、意見交換ができるようになる。事業所としてできる事できない事を明確にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (20 : 20 ~ 20 : 35)

6. 連携・協働

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	7 人	2 人	20 人

前回の改善計画	
	・城山庵で開催する行事に合わせて地域住民に向けた勉強会の開催を企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・今年の文化祭や家族会ではお招きした地域の方や家族に向けて介護術のノウハウや認知症について話をおこなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	12	7	0	1	20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	10	7	1	2	20
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	11	4	1	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	9	7	2	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・退院前カンファ、担当者会議、地域密着ネット (宗像市密着型事業所連絡会)、合同ネット (小規模連絡会) などの会議には積極的に参加している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域行事へのご案内はよくいただくようになったが、猛暑や天候不良のため参加できない事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・地域の各種機関や団体とのコンタクトをとる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (20 : 35 ~ 20 : 50)

7. 運営

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8 人	9 人	3 人	0 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 市の方針に従い地域活動については現状で良いと思われる。家族からの意見や苦情については、家族がより意見を言いやすいようなアンケート内容を再考する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 毎年おこなっている家族アンケートではできるだけ家族会への参加が増えるよう参加しやすい日時の聞き取りや、サービスについて意見を言いやすいよう、サービスの満足度を数値化し、自由記述での回答欄を設けたり、小規模のサービスについてのメリットや介護される場合の地域資源など意見を求めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	12	4	1	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	11	1	0	20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	11	4	0	20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	5	8	1	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族の意見に対しては支障がない限り即、受け入れ対応すべく検討している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の方からの意見や苦情はあまりないが、車のアイドリングがうるさいとの声があった。また、地域と協働しての取組みは特にないが、災害時訓練には地域に参加した。 運営推進会議でも地域からの要望はなく、推進会議において地域活動に力を入れると本来業務に影響が出るのではないかと意見もあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 送迎の合間での公用車でのアイドリングはなくす。車の乗降や運行日誌の記入時は必ずエンジンを切る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (20 : 50 ~ 21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	13 人	1 人	0 人	20 人

前回の改善計画	
	・全職員がKYTの準備を行う事で、職員のリスクに対する意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・定期的に担当を決めて、事前に KYT に繋がるような場面を検証する為、施設内の写真を担当が準備して職員会議で意見交換の場を持ち、リスクに対する意識を持つようにしている。検証については多くの意見が集まるが、リスクに対する意識は個人によって温度差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	10	9	0	1	20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	12	3	0	20
③	地域連絡会に参加していますか	8	7	4	1	20
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	14	1	0	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・院内、院外でも研修会の機会は多く、病院の研修会では不参加の場合も後日 DVD 観賞や議事録で研修会の内容を再確認できることも多い。 ・職員 1 人 1 人に研修計画を作成し、1 年の振り返りができる様にし、意識の向上を図っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・資格取得やスキルアップの研修参加は個人差がある。 ・リスクマネジメントに対する考え方が適切と言えない職員がおり、同じような失敗を繰り返してしまうことがある。インシデントレポートやアットハットが次に活かされてないケースがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・アットハットの集計を定例会で公表し職員にも意見を求める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (21 : 00 ~ 21 : 10)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小方 幸田 金田 白木 井上 横道 金村 白山 神谷
荒牧 石松 広瀬 明比 合島 野中 東 友野 宮田 三好
高木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	10 人	1 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・注意する時のサインを作り利用者の前でもお互いに注意できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇面では職員間で注意しあう時のサインを決めているが、サインを出すか判断に迷ったり気づいてもサインを出していないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	6	0	0	20
②	虐待は行われていない	15	5	0	0	20
③	プライバシーが守られている	5	14	1	0	20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	5	8	5	20
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	11	1	1	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待に対する意識はできており、そのようなケースはない。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーや個人情報に関する職員間の会話が場所や声の大きさをはばかれていない。 ・利用者との距離が近すぎて接遇や立場の意識が薄れている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で気づいた時はサインを出して相手に気づいてもらうようにする。 ・介護もサービス業、接客業ととらえ接遇マナーの向上を図る。 	